

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成31年度～平成35年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	鬼怒川森林計画区 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、栃木県の中央部に位置する宇都宮市、日光市及び益子町に所在する約8万2千haの国有林を対象としている。</p> <p>本計画区は、福島県境の帝釈山脈の諸峰と群馬県境の鬼怒沼山、白根山等の山々に囲まれる区域で、利根川流域に属し、燕巢山一帯を水源とする鬼怒川、奥日光の金精山・温泉ヶ岳一帯を源流とする大谷川、皇海山を源にする渡良瀬川等の上流部に位置し、本計画区の国有林の90%以上が水源涵養を目的とした保安林等に指定され、首都圏の電力や水資源の供給等に重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区の国有林は、面積が8万2千haで、流域森林面積14万2千haの58%を占め、カラマツ、スギ、ヒノキを主体とする人工林が21%、ブナ等を主体とした天然林が79%となっている。林木の生育はカラマツがおおむね中庸、スギ、ヒノキがおおむね良好であり、9齢級^{※1}以上の利用期を迎える林分が多くなっているが、ニホンジカ、ツキノワグマによる樹皮剥ぎ被害が多く発生している。また、本計画区の国有林は、日光国立公園の中核であるほか、世界文化遺産の日光東照宮や中禅寺湖、男体山など優れた景観を有し温泉、湖沼、山岳等の豊かな観光資源にも恵まれており、首都圏から比較的近いことから、レクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、こうした背景や期待に応えるべく、国土保全や水源涵養等の森林のもつ公益的機能の維持増進や木材の安定供給体制の構築を目的として、間伐、主伐に伴う確実な更新、獣害対策等の森林整備及びその効果的・効率的な実施のための路網の整備を実施するものである。</p> <p>これまでの評価結果等を踏まえ、森林整備の実施に当たっては、作業効率の向上とコスト削減を図る必要があり、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した一貫作業システムを推進するとともに、安全性の高い列状間伐、下刈回数削減、生産性の向上など、低コスト化に向けた取組を推進している。また、植栽樹種がスギの場合には全量花粉症対策苗に移行することとしている。</p> <p>これらの取組については、国有林が先頭に立ち民有林にも波及させる必要があり、地域でリーダーシップを発揮しつつ、本事業を実施する中で素材生産の生産性向上や造林コストの低コスト化の現地検討会を積極的に開催するなど、県、市町等と連携して取り組んでいる。</p> <p>・ 主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>408ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,073ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>24.7km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.2km</td> </tr> </table> <p>・ 総事業費 4,852,182千円（税抜き 4,492,761千円）</p>			森林整備	更新面積	408ha		保育面積	5,073ha	路網整備	開設延長	24.7km		改良延長	4.2km
森林整備	更新面積	408ha													
	保育面積	5,073ha													
路網整備	開設延長	24.7km													
	改良延長	4.2km													
費用便益分析	総便益（B）	11,853,992千円													
	総費用（C）	5,319,032千円													
	分析結果（B/C）	2.23													
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。</p> <p>事業の効率化や生産性の向上につながる取組を民有林に普及させていくことが望まれる。</p>														
評価結果	<p>・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資する事業であるとともに、事業の実施を通じて生産される木材を安定供給により地域の林業・木材産業の振興にも寄与するものであることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの定着を図ること、また、路網整備では、搬出路（トラック道）がないため林業機械での長距離運搬となっている箇所の路網整備を優先することや丈夫で簡易な構造の林業専用道を採用すること等により、コスト削減を</p>														

図ることとしており、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。

- ・有効性： 過密林分で下層植生が衰退傾向の人工林等における間伐等の実施により森林の有する公益的機能が持続的に発揮され、また、整備した路網を活用した木材の安定供給が可能となり、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

新規事業採択にあたっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。

※1 齢級；森林の年齢。人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級と数える。

様式 1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名 : 森林環境保全整備事業

都道府県名 : 栃木県

施行箇所 : 鬼怒川森林計画区

(単位 : 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,577,130	
	流域貯水便益	793,843	
	水質浄化便益	1,777,795	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,260,791	
環境保全便益	炭素固定便益	760,673	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,761,332	
	木材利用増進便益	140,425	
	木材生産確保・増進便益	1,408,045	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	373,958	
総便益 (B)		11,853,992	
総費用 (C)		5,319,032	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,853,992}{5,319,032} = 2.23$		

森林環境保全整備事業 鬼怒川森林計画区(栃木県)事業概要図



下刈 (日光市横峯国有林)



間伐 (日光市夕ヶ原国有林)



路網整備 (日光市倉下国有林)



地拵・植付
(宇都宮市金山国有林)

